

文化芸術交流実験室

2017/11 - 2018/3

Culture and Arts Exchange Laboratory



トークセッションとワークショップがセットとなった

新しい切り口のシリーズ企画です。

岡山県内の分野横断的な交流の

プラットフォームを目指します。

これまでになかった素敵な化学反応を、

みんなで起こしてみませんか？



各回：定員 30 名

当企画は、お昼ははさんでおりますため、
各回内容に合わせてのランチ付きです。
(ランチ代1,000円は当日お支払いください)



architecture
town planning
performing arts
welfare
education
photography
music

literature
cultural assets
history
traditional performing arts
food

craft
design
fashion
tea ceremony · flower arrangement

分野を超えてつながることから
生まれるものを期待して



local vitalization cooperators
international exchange
art
video
calligraphy



おかやま文化芸術アソシエイツでは平成29年度より、岡山県内の優れた文化・芸術資源の掘り起こしや、その価値を県民の皆様にも再認識していただけるよう、調査研究事業を開始しました。

調査の過程で得られる新たな情報や、人材データをもとにして、文化・芸術と他分野との連携による新たな取り組みの提案や、ソーシャルインクルージョンの視点も盛り込んだレクチャーとワークショップを定期的に開催し、県内の人材や文化資源の領域横断的な出合いの場の創出と、ネットワーク構築を目指します。

この実験室に期待するのは、文化芸術コミュニティ内での交流はもちろん、福祉や教育、まちづくりなど様々な分野との交流に文化芸術の創造性を生かして、新しい取り組みが始まり、すべての人が文化芸術を楽しむことができる岡山が生まれることです。

主催：おかやま文化芸術アソシエイツ（公益社団法人岡山県文化連盟）
・岡山県

問い合わせ先：086-234-2626



おかやま文化芸術アソシエイツとは

岡山県文化連盟が持つ既存のネットワークを生かして、地域で生活する我々はその地域の文化を構成する人や資源、歴史、お金についてよく知り、地域の未来を見据えた新たな価値の創造と多様なステークホルダーの共生について思考するために、おかやま文化芸術アソシエイツ（地域アーツカウンシル）をスタートさせました。プログラム・コーディネーターに大月ヒロ子さんを迎え、様々な取り組みを始めています。



公益社団法人 岡山県文化連盟

おかやま
文化芸術アソシエイツ



お申し込みはwebサイトより

<http://www.o-bunren.jp/lab-form/>



1 回目 11/25(土) 11:00-16:00

「見えない岡山を見る」

いつもの通勤路、なじみの建物、子どもと歩く散歩道…。よく知っていると思っている岡山ですが、本当でしょうか？見えない岡山を見る。逆説的な言い方ですが、まだまだ気づいていない、見えていない、そして聞こえていない、味わっていない、嗅いでいない、触っていない岡山に出会う実験室です。見過ごしがちな町の魅力に気づき、スポットをあてる名手でもある、うかぶLLCの三宅航太郎氏と蛇谷りえ氏にナビゲートをお願いしました。このチャンスに、町を捉えるスキルを上げてみましょう。建築分野、まちづくりの方々はもちろんのこと、パフォーマンス、福祉、教育、写真、音楽、文学分野の方々、ぜひいらしてください。詳細についてはおかやま文化芸術アソシエイツのWEBページをご覧ください。

講師：三宅航太郎（うかぶLLC 共同代表）
蛇谷りえ（うかぶLLC 共同代表）*1
開催地：岡山県天神山文化プラザ
関連分野：建築・環境・パフォーマンス・福祉・教育・写真・音楽・食

● 岡山県天神山文化プラザ
〒700-0814 岡山市北区天神町8-54
TEL：086-226-5005 WEB：http://www.tenplaza.info/



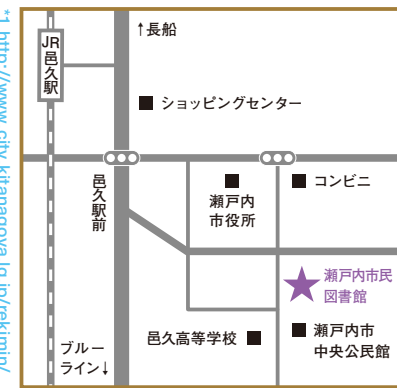
2 回目 12/16(土) 11:00-16:00

「古道具類を生かす、回想法の魅力に迫る」

地域の資料館や古民家、農家に活用する道を見つけられないまま眠る古い道具類は、いったいどのくらいの数に上るでしょう。そして、今後もその数は増え続けるに違いありません。これらを地域資源として捉え、様々な領域で魅力を放つものとして生かす方法があります。回想法もその一つ。長らく実践を重ね、効果を上げている北名古屋歴史民俗資料館はパイオニア的存在ですが、瀬戸内市民図書館や、かつては岡山県立博物館でも、古い道具類を認知機能の改善や、コミュニケーションの活性化に役立てる試みがなされています。今回の実験室では、みなさんと一緒にその活用領域をさらに広げてみようと思います。詳細についてはおかやま文化芸術アソシエイツのWEBページをご覧ください。

講師：市橋芳則（北名古屋歴史民俗資料館 / 昭和日常博物館 館長）*1
村上岳（瀬戸内市民図書館 主幹）、野田萌子（岡山県立博物館 学芸員）
開催地：瀬戸内市民図書館もみわ広場
関連分野：文化財・福祉・教育・写真・資料館・博物館・医療・歴史・演劇・デザイン・図書館

● 瀬戸内市民図書館
〒701-4221 岡山県瀬戸内市邑久町尾張465-1
TEL：0869-24-8900 WEB：http://lib.city.setouchi.lg.jp



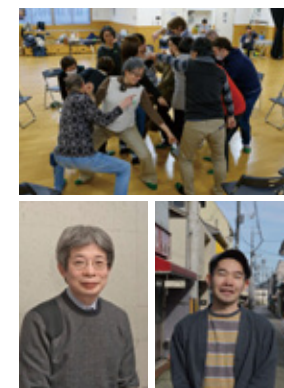
3 回目 1/8(月・祝) 11:00-16:00

「文化と教育と福祉の刺激的な関係」

世界的な劇作家・演出家である平田オリザ氏を「教育・文化のまちづくり監」に迎えた奈義町。町は人口6,000人の維持と、活力ある元気な経済を目標とした地方創生を実現するため、「ひとづくり」を大切に、教育・文化を柱とした「タウンプライド」を構築する方向性を打ち出しました。この町のアート・デザイン・ディレクターとしても活躍する菅原直樹氏は、演劇と福祉の新しい関係性を探求しています。ここには地方の小さな町のこれからを考える上でのヒントが溢れています。今回はそれらを、演劇を切り口に読み解いていきます。奈義町から私たちの未来を垣間見てみましょう。詳細についてはおかやま文化芸術アソシエイツのWEBページをご覧ください。

講師：平田オリザ（劇作家・演出家）*1
菅原直樹（奈義町アート・デザイン・ディレクター）*2
開催地：奈義町伝統文化等研修施設
関連分野：パフォーマンス・福祉・教育・写真・デザイン

● 奈義町伝統文化等研修施設（奈義町文化センターに隣接）
〒708-1323 岡山県勝田郡奈義町豊沢327-1
TEL：0868-36-3034



4 回目 2/17(土) 11:00-16:00

「伝統芸能から見る未来」

伝統芸能の世界にも新風が吹いています。カフェで伝統芸能体験をする若い人たちも現れ始めました。海外の写真家が、日本各地の郷土芸能の装束の写真を撮影し、話題にもなりました。伝統は最初からあったのだろうか？という目線を持ちながら、日本の地域文化をどう受け継ぎ、発展させていくか、インプットとアウトプットの方法に新しい見方や方法を持ち込んでいる3人をお招きしました。郷土芸能の映像アーカイブを試みる大澤寅雄氏、自らも鹿踊りしつつ伝統芸能との新しい関わり方のデザインを提唱する小岩秀太郎氏、国内外の人に向けて新感覚の民俗芸能の情報サイトの運営を行っている高橋亜弓氏です。詳細についてはおかやま文化芸術アソシエイツのWEBページをご覧ください。

講師：大澤寅雄（NPO法人アートNPOリンク 理事）*1
小岩秀太郎（公益社団法人全日本郷土芸能協会）*2
高橋亜弓（仔鹿ネット）*3
開催地：旧中国銀行倉敷本町出張所
関連分野：パフォーマンス・福祉・教育・写真・伝統芸能・食・ファッション

● 旧中国銀行倉敷本町出張所
〒710-0054 岡山県倉敷市本町3-1



5 回目 3/24(土) 11:00-16:00

「食でつながる地域」

光溢れる岡山には、豊かな食材が揃っています。農地での生産に加え、平地だけでなく海や山からも、多様な食材を私たちに届けてくれる人々がいます。食は様々な分野から成り立つ文化そのものであり、生産の現場でも提供の場でも有効なコミュニケーションツールとなります。地域の余剰農産物を活かし、お母さんたちと食品作りの会社を立ち上げた姜侖秀氏、和菓子の会社から美術館に活躍の場を変えた関洋平氏、旧遷香尋常小学校の給食プロジェクトを率いる岡本康治氏をナビゲーターに、食材を切り口にして、地域の様々な文化を見つめ、新たな活かし方を見つけてみます。詳細についてはおかやま文化芸術アソシエイツのWEBページをご覧ください。

講師：姜侖秀（真庭市地域おこし協力隊、株式会社ふの 代表）
関洋平（瀬戸内市立美術館 学芸員）
岡本康治（まちづくり市民応援団 まにワッショイ 代表）
開催地：旧遷香尋常小学校
関連分野：食・地域おこし協力隊・国際交流・アート・環境・建築・映像・農業・ファッション

● 旧遷香尋常小学校
〒719-3214 岡山県真庭市鍋屋17-1
TEL：0867-42-7000 WEB：http://kuse-espace.jp/pages/school

